申 請 調 書 Ⅱ b

在籍番号

所属 　研究科　　　　　　課程

　　　※令和８年４月時点での在籍予定

氏名

１　研究課題

２　研究内容

３　修了後、日本国内での就職希望の有無（いずれかに○をしてください。）

日本での就職を、

【　】希望する （【　】現課程を修了後 ・ 【　】進学後 ）

【　】希望しない

４　修了後の予定及び希望（３で「希望する」を選択した場合、その展望を含め記載してください。）また、そのために、どのような努力をしていますか。

５　社会活動（特に国際交流・地域交流）について、これまでに行ったことを具体的に記載してください。

**※本シートの以下内容について、記載事項に虚偽が無いか（特に学会発表回数、論文件数について）、必ず指導教員のチェックを受けること。また、本シート内の注意点を熟読すること。**

６　査読付きの、国際誌における発表（投稿中含む）論文数：　　報

　　うち、筆頭著者の論文数：　　報

　　　　　投稿中の論文数：　　報・

①著者名（共著の場合は全員を掲載）②論文題目　③掲載誌名等　④掲載誌の発行機関　⑤発行号数　⑥ページ数　⑦掲載年を記入すること。（記入のない場合は評価の対象外となります。）

７　査読付きの、国内誌における発表（投稿中含む）論文数：　　報

　　うち、筆頭著者の論文数：　　報

　　　　　投稿中の論文数　：　　報

①著者名（共著の場合は全員を掲載）②論文題目　③掲載誌名等　④掲載誌の発行機関　⑤発行号数　⑥ページ数　⑦掲載年を記入すること。（記入のない場合は評価の対象外となります。）

【６、７の注意点】

・「査読」とは…投稿された論文をその学問分野の専門家が読んで、内容の査定を行うことです。

・研究論文とはみなされない出版物（大学内の学報や、研究室紹介文など）は含まれません。

・学位論文は、含まれません。

８　国際会議（学会含む）における発表回数：　　回

 （うち、筆頭演者として発表したもの：　　回）

①発表題目　②会議名　③会場　④発表年月　⑤ポスター発表か口頭での発表かを記入すること。

（記入のない場合は評価の対象外となります。）

９　国内会議（学会含む）における発表回数：　　回

 （うち、筆頭演者として発表したもの：　　回）

①発表題目　②会議名　③会場　④発表年月　⑤ポスター発表か口頭での発表かを記入すること。

（記入のない場合は評価の対象外となります。）

【８、９の注意点】

申請者本人が国際会議や学会で口頭発表あるいはポスター説明を行ったものに限る。ここでいう国際会議や国内学会とは組織委員会が正式に設けられ、社会的に広く認知されたものを指し、学内での発表会や特定研究室でのセミナー発表などは含まれない。申請時点で既に参加済みのものに限る。

、

10　あなたの日本語能力について、以下から選択し、最も近いと思われるところの【 】に○を記入してください。分からない場合は、以下のサイトを参考にしてください。

●日本語能力試験「N１～N５認定の目安」https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html

【　】 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる（N１相当）

【　】日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解

することができる（N２相当）

【　】日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる（N３相当）

【　】基本的な日本語を理解することができる（N４相当）

【　】基本的な日本語をある程度理解することができる（N５相当）

【　】ほとんど日本語を理解することができない。（Beginner）

【10の補足】

10については、選考に影響しません。ありのままご記入ください。